

どんなことがあっても 薬物は「ダメ！」

1月19日 6年生「薬物乱用防止教室」



学校薬剤師の村瀬先生から、薬物乱用の怖さや体への影響を教えてくださいました。



6年生のみんなは、真剣に聞き学びました。そして決意しました。

○薬物は身近な生活にはないイメージだったけど、思った以上に身近にあることに驚きました。どんなことがあっても薬物は使ってはいけないと思いました。

○1回薬物を使っただけでもやめられなくなって、事故や犯罪を起こしてしまうことが分かった。脳が壊れて、自分がおかしくなり、未来も壊すことになるので、絶対に手を出さないようにしたいと思いました。

○やめようと思えばやめられると思っていたけれど、依存症があり、やめたくてもやめられない薬物の恐ろしさを知ってゾッとしました。

○お医者さんや薬剤師さんが、ひとりひとりに合った薬を安全に出してくださっていることを知って、安心し、嬉しかったです。

日常生活に活かしていくことが大切ですね。